

メアリー・ハーベイ博士講演会

暴力被害者の声に耳を傾ける

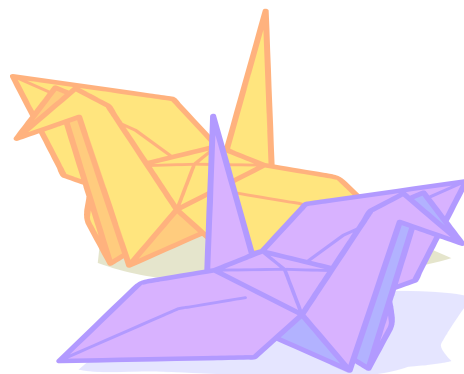
～回復初期にあるトラウマ・サバイバーの
ナラティブから病理とレジリエンスを特定する～



日時：11月18日(水)16:30～18:30

場所：立命館大学（衣笠キャンパス）
創思館4階 401・402号
(通訳あり、参加費無料)

講演内容 メアリー・ハーベイ博士は、『心的外傷と回復』(みすず書房)の著者ジュディ・ハーマンとともに、1984年に暴力被害者支援サービスであるVOVプログラムを創設し、ハーバード大学医学部と協力関係を持ちつつ最先端の医療と精神科治療プログラムを提供してきた。そのなかで、ハーベイ博士は、MTRR(トラウマの回復とレジリエンスのための多次元尺度)/MTRR-I(インタビュー)を開発し、暴力被害者たちの査定を行ってきたが、最近、VOVでは、MTRR-Iを使って、回復初期にあるトラウマ・サバイバーのナラティブを集め、グランディッド・セオリーに基づく分析を行い、その病理とレジリエンス(復元力)を特定する研究を行った。今回の講演では、この研究結果に基づき、虐待、DV、性暴力など複雑性PTSDを抱える回復初期にあるサバイバーのナラティブを、セラピストがどのように聴き、回復の援助を提供していけるのかについて紹介する。



講師紹介:ハーバード大学医学部臨床心理学准教授、ケンブリッジ健康連合 VOV プログラム創設理事。臨床心理士、コミュニティ心理学者として、トラウマ・サバイバーの支援、エコロジカルモデルに基づくコミュニティ介入に従事。アメリカ精神医学会金賞(1988)、国際トラウマ学会サラハーレイ賞(1996)受賞のほか、Koss, M. and Harvey, M. *The Rape Victim: Clinical and Community Approaches to Treatment*. Lexington, MA: Lewis Publishing, 1987. Harvey, M. R. and Tummala-Narra, P., Editors. *Sources and Expressions of Resiliency in Trauma Survivors: Ecological Theory, Multicultural Practice*. Binghamton, NY: The Haworth Press, 2007. など著書多数。

主催:立命館大学大学院応用人間科学研究科

共催:立命館大学人間科学研究所

立命館大学心理・教育相談センター

お問い合わせは・・・

075-465-8375(応用人間科学研究科)

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

立命館大学心理・教育相談センターでは、「人とうまくつきあえない」「子どもの発達で気になることがある」等さまざまな悩みについてのカウンセリングを行っております。

詳しくは、お電話にてお問い合わせください。

TEL: 075-466-3430

(非通知設定の方は、番号の通知設定をしてからおかけください。)